

## 「地域を愛し、地域から学び、地域に貢献ができる生徒の育成」

### —持続可能な学校づくりを目指して—

#### 津島市立暁中学校

#### 1 実践のねらい

地域から学校への一方向の支援を、地域と学校の双方向からの連携・協働を進めていく活動へと展開していくために、平成30年度に、市内12小中学校が、学校支援地域本部から「地域学校協働本部」に変わり、本校では令和2年度にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置した。地域の未来を担う次世代育成の活動と、少子・高齢化が進む地域のまちづくりを目指し、地域連携を進めている。

昨年度、地域の歴史、景観、伝統文化、文化財などを生徒が地域の方から学ぶ「ふるさと津島・あかつきの日」を設定した。また、中学校、地区コミュニティ、保護司、民生委員、PTAなど各団体が参加し見守りや避難補助を行う「協働避難訓練」を行い、生徒は防災意識を高めることができた。しかし、このような地域連携が進む中、一方で、生徒・保護者・教職員のコミュニティ・スクールに対する関心が余り高くない現状がある。また、地域ボランティアの固定化と教職員の負担などが課題としてあげられる。

本事業を通して、学校・保護者・地域との信頼関係を構築しながら、コミュニティ・スクールの持続可能な体制を整え、地域とともに未来を築く学校づくりを進めていく。そして、生まれ育った「津島市」を愛し、自らが主体的に未来を切りひらくことができる生徒の育成をめざしていきたい。

#### 2 実践の内容

##### (1) 絵本読み聞かせ（毎月第4金曜日）

月1回の頻度で、朝の読書時間に地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを行った。対象は特別支援学級の生徒である。ボランティアの方からは、「生徒が真剣に話を聞いてくれるので読みがいがある」といった声があがり、絵本選びにも余念がなかった。また、12月の人権週間には全校生徒対象の読み聞かせを実施した。生徒からは「大きくなってから絵本に触れることは余りないが、小さいときだけではなく、今にも通じることがあって、すごいと思った」「いろいろな人が暮らすこの世界では、互いの違いや個性を認め合うことが必要だと考えさせられました」といった感想が寄せられた。



【読み聞かせの様子】

##### (2) 校内緑化活動（6月）

第1回学校運営協議会の後、コミュニティ・スクールの方と教員、校務員が玄関先に置くプランターの苗植えを行った。

##### (3) ふるさと津島・あかつきの日（6月）

令和3年度より学校・家庭・地域がつながる行事「ふるさと津島・あかつきの日」の開催に向けて協議を重ねてきた。本校の目指す



【展示物を見る生徒の様子】

生徒像の一つ、「地域を愛し、地域から学び、地域に貢献ができる生徒」を意識し、「防災」「天王祭」「津島の歴史・文化」の三つのテーマで学ぶ行事を令和5年度から始め、本年度のテーマは「尾張津島天王祭」とした。尾張津島天王祭に関する資料をコミュニティ・スクールが作成し、展示した。生徒たちはクラスごとに展示物の鑑賞をし、ワークシートにまとめた。また、津島神社の宮司でもあり、天王中学校学校運営協議会会長でもある方に「尾張津島天王祭」について御講演いただいた。

##### (4) 親子協働除草作業（9月）

学校祭を前に、神島田コミュニティ、コミュニティ・スクール、全校生徒、教員、PTAが一堂に集まり、環境整備を行った。

##### (5) 協働避難訓練（10月）

唐臼こども園の避難訓練に中学3年生が参加し、園児が避難所である中学校まで安全に避難できるよう補助を行った。地域のボランティアやPTAの方には園児と中学生が往復する道中、交通安全に気を付けるよう見守りをしていただいた。また、体育館に避難した園児に向けて地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施した。

##### (6) 歳末助け合い運動（12月）

地域のコミュニティの方と協力して、募金活動を行った。



【講演会の様子】



【除草作業の様子】



【避難訓練の様子】

#### 3 実践の成果や今後の展望

地域ボランティアによる読み聞かせ活動では、生徒たちは温かな雰囲気の中で、ボランティアの方を迎え、ボランティアの方は集中して読み聞かせに向かうことができ、さらに、コミュニケーションもスムーズにとれてお互い気持ちのよい朝の15分を過ごすことができた。読み聞かせの効果だけでなく、地域の大人が校内に入り生徒と接するというのも双方の貴重な体験となっている。

「ふるさと津島・あかつきの日」の講演会では、生徒の感想の中に「ほとんど知らないことだらけで、自分は津島市に関して無知だと思ったので、祭り以外のことも知りたいと思いました」とあり、興味関心を広げることができた。また、朝祭の説明の中で、少子化により、稚児役が地元で見つからず、県外の子が担当することが多くなったと知り、「少し悲しいなと思いました。学んだことを家族にも伝えてみたいと思いました」と地域の問題を自分事として考えることができた。

本校の特色である行事「ふるさと津島・あかつきの日」は、令和5年度「防災」、令和6年度「天王祭」、令和7年度「津島の歴史・文化」と遂行していく。生徒が3年間、暁中学校に通う中で、どの行事にも携わることができる取組である。今後は、コミュニティ・スクールとして連携を進めやすい環境を整えていきたい。

以上のようにコミュニティ・スクールの一過性の取組や特定の人たちに依存するかたちではなく、持続可能なものになるよう、地域、学校双方が対等の立場でお互いを高め合うような「win-winの関係」を構築しながら、これからも体制づくりを進めていく。そして、「地域の未来を育成する学校」を目指して、生まれ育った「津島市」を愛する生徒を育成していきたい。